

地域生活支援探究領域 特別研究内容	担当教員	研究の内容
	教授 山本 明弘	精神障害者が置かれてきた社会的状況を、歴史的文献及び行政統計資料をもとに検証するとともに、今日の様々な社会資源へのフィールドワークによる当事者及び支援者との関わりを通して、精神障害者が地域・在宅で生活する上での課題を抽出する。さらに、薬物療法等の精神科医療が個々の日常生活にもたらす影響についても検証し、精神障害者への地域・在宅生活支援の方策及び看護職の果たすべき役割を明らかにするための研究指導を行う。
	教授 井上 深幸	高齢者の地域生活支援に関する研究テーマで、高齢者の住みなれた地域でのより豊かな生活を支援できる効果的な援助方法、ケア資源、ケア体制の構築にむけた調査研究、アクションリサーチ、介入研究の手法による論文作成及び成果の公表にいたる一連の研究指導を行う。
	教授 小島 賢子	母子関係における愛着や相互作用、母親の育児不安が、地域で生活する子どもとその家族の諸問題にどのように関わるか検討する。また、医療機関が行う地域支援のあり方をテーマに研究課題を明確にし、量的・質的研究方法による論文作成および成果の公表にいたる一連の研究指導を行う。
	准教授 千葉 陽子	母性・父性の形成や親子関係、産育の歴史的考察、または国際看護に関するテーマで、臨床実践の中から発生した研究課題の明確化を経て、量的・質的研究方法による論文作成および成果の公表にいたる一連の研究指導を行う。
	准教授 福田 里砂	臨床判断や援助技術の向上、セルフケア継続支援をテーマとし、臨床上の課題の解決や看護の質の向上のために、エビデンスの構築、診療ガイドラインなどのエビデンスの活用、エビデンス・プラクティスギャップの明確化とそれを改善するための看護の確立などを目指した研究の支援を行う。疫学的手法および質的研究など、研究課題に応じた手法を用いて、研究計画から論文の執筆までの一連の指導を行う。